

主題

つなげ合うことで共に高め合い、自ら探究する児童の育成
～様々な教科においても～

5年2組

社会科「自然災害とともに生きる」

<高学年部会からの提案 ～学び合いのサイクルのために～>

○ 児童の問いをもとにした学習問題・学習計画の作成

「つかむ」段階で、東日本大震災で被害を受けた地域の写真や動画をもとに自然災害に対する関心を高めることで、一人ひとりが「問い」をもち、整理して学習問題・学習計画へとつなげていく。

○ 津波を典型事例として、他の災害に対する自由進度学習

「しらべる」段階では、前半で津波への対策を典型事例として扱い、調べる観点を明確にする。後半では津波以外の災害（例えば、地震・大雨など）について関心をもったものを各々が調べ、最終的にはそれぞれの災害対策の共通点を整理し、国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解できるようにする。

○ ICT の活用

スライドを使って、振り返りの意見を共有することを通して、自分の考えを深めていくことにつなげられるようにする。

○ 総合的な学習の時間「防災」のテーマとの関連付け

この小単元で国や自治体が行っている具体的な対策を学び、総合的な学習の時間で自分たちにできることを考えるように学習を進めていく。

<協議会で話したいこと>

- ・補助資料の提示のタイミングや内容は子どもたちの探究心を高める上で、効果的であったか。
- ・社会的なねらいとしては、達成されていたかどうか。